

# おい自然園

ベニカミキリ

No.131

初夏の里山でよく見られる、体長15mmほどの赤いカミキリムシです。幼虫は枯れた竹を食べるため、竹林が周囲にある場所です。特によく見られます。成虫は晴れた日の日中にミズキやクワ、コデマリなどの花に飛んできて、その花を食べます。特にクワの花は好物で、林に囲まれたクワ園でクワの花を探せば、ほぼ確実に見つけることができます。捕まえると、何とも言えない匂いを出します。触角が体と同じくらいの長さであれば雌、はるかに長ければ雄です。

クワの花には本種の他に、コアオハナムゲリやアカシジミなど、多くの昆虫が集まります。その様子は、さながら昆虫たちのレストランであり、良い花を見つけた時は、眺めていて飽きません。ぜひ皆さんも探してみてください。



▲ベニカミキリ

## 【おい自然園 HP】



中野区動物園  
自然園を  
見たい方  
は、この  
QRコード  
を  
スマートフォン  
で読み取って  
ください。

## 【自然NOWへの投稿】



自然NOW  
へ投稿する  
方は、この  
QRコードを  
読み取って  
ください。  
※撮影は横位置で。

神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員 渡辺恭平